

2 ごみ処理（倉吉市と中部地区全体の取組）について

（1）鳥取県中部地区内ごみ処理基本計画

ごみ処理や観光、福祉等は広域的な取組が必要です。鳥取中部ふるさと広域連合のHPには、『倉吉市、湯梨浜町、三朝町、北栄町、琴浦町及び鳥取中部ふるさと広域連合は、「鳥取県中部地区内一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」を策定致しました。計画では、「ごみ排出量の削減」、「リサイクル率の向上」、「最終処分率の維持」を目標に掲げ、処理の基本方針及び取組施策を定めております。』とあります。

問⑤

①鳥取中部ふるさと広域連合と構成団体である倉吉市等とのごみ処理に関わっての話し合いがもたれているとのことですが、どのような内容なのですか。

②ごみ処理基本計画の取組施策には22項目あり、重点取組として5つ「生ごみ減量化・食品ロス削減の推進、使用済みプラスチック類削減の推進、ごみ分別・適正排出の徹底、高齢者のごみ出し支援制度の検討、新たな中間処理体制に向けた検討」となっています。

このうち特に住民の取組に係る

（1）生ごみ減量化及び生ごみの資源化の推進

（2）使用済みプラスチック類削減の推進

（3）高齢者のゴミ出し支援制度の検討

について、市としてどのような取組を推進・検討しているのですか。

市長答弁

①定期的に担当課町会等を開催。最近では有害ごみの分別を追加したり、取組の協議をしたり、伯耆リサイクルセンターが平成8年3月に竣工した施設で老朽化して、次の方針を見据えた色々な取組を進めるため、新たな中間処理体制の構築に向けて検討を実施している。これについては、一市四町、広域連合、住民の代表者も加えながら検討を加えている。プラスチックの再資源化が国の支援制度を活用するにあたっては条件となり、検討を重ねている。

②中部地区ごみ処理計画の推進について。

(1) 生ごみの減量化、可燃ごみの4割は生ごみで、生ごみは非常に水分が多く、重量も大きいため、減量していく、あるいは食品ロスを減らすことが、余分なエネルギーを使う必要がなくなる取組にもつながるので、このことについて関係市町と広域連合で協議し、次の取組につなげていこうと考えている。倉吉市では、令和6年度、生ごみ処理機の導入支援等について検討したが、一定の効果があると思うが、全体のごみの量を減量していこうと「倉吉環境カレンダー」を作成して、小学校・中学校に配布して、家庭からのごみ問題に関しての意識付け・啓発を図ることとしている。

(2) 使用済みプラスチックの削減について。

ペットボトル、白色トレイ等の容器包装の取組以外に、琴浦町が先進的に取り組んでおられる硬質・軟質等の分別も今後取り組むべく研究をしているところ。企業でも、今までプラスチックを紙類にしていく取組もあり、エネルギーの消費をなるべく抑える再資源化を進めていくなど検討をしている。

(3) 高齢者のゴミ出し支援制度について。自力でゴミを出すことが困難な高齢者も増加していることが予想されるため、地域包括支援センターで高齢者のゴミ出し相談を受け、必要と判断した場合はゴミ出し支援も行っている。負担軽減の一つの方法として、ゴミ袋をもう少し小さいサイズをつくる。大と小に加えて、極小サイズを新設してみてもどうかと考えている。これらについては、伯耆リサイクルセンターのゴミ持ち込み料金の改定が4月から予定されているため、本市としてもゴミ袋の単価を見直すことも必要かなと考えており、高齢者のごみの量に応じた大きさにしていく、ごみの減量化につなげるよう検討しているところです。

藤井

次年度、薪ストーブのことも予算化が上程されています。このことは、以前質問もし、佐藤議員からの質問もありよかったと思っています。生ごみ処理機について、鳥飼議員が9月議会で質問され、私もいいことだなと思い・・・環境カレンダー・・・確かにそうでしょうけど、琴浦町のことも言われました。生ごみ処理機については、県内でも半数以上の自治体が補助金をつけている

わけで、水分量を減らす、あるいはコンポスト化、肥料化すること
ということで、ごみの減量化やSDGSの観点からも有効だと思
うので、ぜひ、これは検討に値するものだと思って質問しています。

市長答弁

生ごみ処理機の購入について改めてということですが、ごみ減量
の効果は非常に大きいと思いますが、まず水切りを徹底すること
でも、生ごみの原料には非常に効果があると思っており、生ごみ
処理機も高いものでは15万円程度かかりますし、導入を支援す
るのを全て拒むというのではなく、まずは、生ごみの水分を減ら
す、あるいは食べ残しを減らす、そういった一番可燃ごみの中で
大きい量を占める生ごみの軽量化なり、減量化を推進していくこ
とを最初に取り組んでみたいと思って、環境カレンダーの配布と
いうことを考えたところでは、ご指摘の通り県内でも、中部管内
でも支援制度を設けておられるところもあるので、支援実績とか
も教えていただきながら検討して参りたいと思います。

藤井

基本的なことということで、この部分の理解をしました。一人
一人が心がけることが大切です。ただ、補助金というのは、
さっき15万円という数字が出ましたが、県内で一番高いところ
は大山町の5万円、一般的には上限が3万円くらい、それがあ
れば自分も買ってごみ減量に協力しようという方はたくさんおら
れます。私もそう思いましたから・・・。是非とも、また検討し
ていただければと思います。